

# 親切は話すことから



愛知県立御津高等学校外国語指導助手

Justin Moy

ジャスティン・モイ

「どこに行くべきですか？あと五分で始まります！多分このビルですか？違います。しまっています。大きなカフェテリアのあるビルはどちらですか？違います。スピーチコンテストはここじゃないです。よくないです。どうして名古屋の南山大学はとも大きいのか？おおい！大学生が来ました。」

「すみません。高校生のスピーチコンテストがここで開催されるか知っていますか？」

「うん、知らないうち。」

このキャンパスのほとんどの部分を探して、私は既に開始時間に遅れています。会場はどこ？もし土曜日でなければ、助けてくれる人がもつといたでしょう。待って、誰かがそのビルにいます。」

「すみません。高校生のスピーチコンテストはどこですか？」

「いつ始まりますか？」

「10分ぐらい前に始まりました」と私はすべしに言いました。

「この高校ですか？」

「生徒じゃないです。私は御津高校のALTです。教えている生徒がスピーチをします。」

彼女は誰かに電話をしました。やっと正しい情報が手に入ると、彼女は建物に鍵を掛けて、バッグを持って出てきました。「スピーチコンテストは南山短期大学です。ここは南山大学です。ちょっと遠いので、車で送りますよ。」

私はそのような親切、特に時間をかけるような親切を期待していませんでした。見知らぬ人が私を助けてくれることが時々ありました。助けてくれない人も当然ありますが、親切な行為はする人と受ける人の両方に絆を作ります。私はこれがJETプログラムの「Grassroots internationalization (草の根の国際化)」の目標の基本的なコミュニケーションだと気づきました。

優しくて簡単な仕草から会話は始まります。英語で話せば日本人の英語が上達する手助けになるし、日本語で話せば外国人の日本語の勉強になるでしょう。南山短期大学に行く間に彼女と私は好きなことや経験談を話しました。単なるおしゃべりでし



↑これは愛知御津高校でのハロウィンです。私はミッキーマウスです



↑これは「ベッカコ鬼」という演劇の配役です。  
私は監督と演出家でした

た。車の中でまったく黙っている人が隣に座っていたらどう思いますか？もしドライブも私もしゃべらなかつたら、わざわざでも食べて叫び出したくなってしまいかもしれません。人と話さないのはとてもつまらないと思いませんか？

私と南山大学の人は自分たちの国と文化の代表者でした。日本人を最初はこう思っていましたか？アメリカ人は？二〇〇七年に日本に来る前は、私は多くの外国人が持っているのと同じように、日本人に対する固定観念がありました。日本人は賢くシャイで優しいです。今までにアメリカ人に関する固定観念を何度も聞きました。うるさく率直で、銃を持っている（何丁も）。もちろんすべての日本人とアメリカ人がそ



↑これは私のアパートで感謝祭のパーティー

ういうわけではありません。話を戻すと、その女性はシャイではありませんでした。シャイな女性なら、私を車で送ってはくれなかつたでしょう。彼女は母国語ではない英語で話してくれました。私の場合は恥ずかしくて外国語を話せなかつたことがありました。親切さは外国語を話すといったような、何か違うことにトライしようという気持ちにさせることがあります。怒っている人に話しかけたくないですよ。

この時は、この出来事を grassroots internationalization とは思いませんでした。その後、毎日人と関わることで外国人の存在が grassroots internationalization に役立っているのわかるようになりました。今は世界中の人と簡単にコミュニケーションをとることができるのです。私はインターネットを使って毎週家族と話しています。外国で会った人とEメールで話すことはできますが、人と人との関わりには欠けるものがあります。JETの人と外国人は本当に自分たちの国の大使のようです。私

の存在は日本人に影響を与えます。友達のみならず商店街の通行人や店主などすべての人に影響を及ぼします。「郷に入るとは郷に従え」ということが grassroots internationalization の一例じゃないです。「郷に入るとは郷に従え。でも、自分の感じを見せ付ける。」の方がいいです。ビルの入口に二〇分ぐらいで送ってくれました。つまり、彼女は自分の時間の二〇分以上を日本語を話せない他人のために使ってくれました。同じことが起こったら、あなたならどうしますか？自分が親切にすれば、みんなが日本のことを教えてくれて心を開いてくれることを期待しています。親切は世界の共通語です。話してください。そして、聞いてください。



Justin Moy

私はジャスティン・モイです。アメリカのニュー・ジャージーから来ました。ニューヨークは車で20分ぐらいです。愛知県立御津高等学校のALTです。日本に来る前はアジアに行ったことがありません、されどアメリカの中華人です。劇やって、旅行して、歌って、書いて、新体験をやってみることが好きです。世界の中にいろいろな文化に興味があります。

# 尽きない想い



大阪府立柴島高等学校外国語指導助手  
Feng Xu  
フェン・シュー



↑高山の「飛騨の里」

振り返ってみれば、出会ってから八年が経ちました。八年の間に、喜びがあり悩みもありました。楽しさがあり辛さもありました。恥ずかしがりだった私の胸は、未知のことに対する好奇心で満ちていました。毎日新しい一面を見られることにわくわく期待していました。しかし、付き合いやすいタイプではないことに次第に私が気づき始めました。灯りをつけ悩みながら過ごした夜はどれだけあったでしょうか。もちろん、雲が消え、晴れた日もありました。努力して言いたいことが伝えられた時の私は、花丸をもらった幼稚園児のように喜んでいました。でも、どうして美しい花は散

り急ぎ、楽しい時間は短いのでしょうか。うまくコミュニケーションができるようになって、次はどこに進めばいいのか、この難題がずっと私を苦しめていました。私が出会ったのはいったい誰でしょうか？ もう分かっているかもしれませんが。そうですね、「日本語」です。大学に入り、日本語は私の第一志望ではありませんでしたが、この縁のお陰で、外国語の魅力、コミュニケーションの魅力に取っつかれました。本、テレビ、インターネットそして中国在住の日本人との触れ合いを通して、少しは日本のことを知っていました。しかし、ずっと日本と直接触れ合う機会はありません



↑興福寺の南円堂



↑大阪心齋橋

んでした。私が日本語を勉強してから五年になるうとする時、やっと奈良に留学するという夢が叶えられました。交換留学の一年間、精一杯努力し、日本と触れ合い、日本を知り、日本を理解しようとして頑張りました。一年間で最も心に残っているのは、やはりここで出会った多くの人たちです。親切にしてくれた年配の方々、一緒に文学や歴史を熱く語りあった壮年の方、部活に無我夢中の青年たち、それと私と関わったことで中国に対する見方を変えた子どもたち。

一年間の交換留学は私の人生にとって貴重な財産になりました。ここで得た財産をより多くの人とと思い、私はJETプログラムに申し込みました。日本で出会った人たちに感謝の気持ちを抱き、二〇〇八年四月九日、しばらく離れていたこの国に戻りました。尽きない想いを繋げようと思っています。

私が働いているところは下町の人情が溢



↑奈良博物館前

れている町、私のずっと憧れていた大阪です。大阪の高校での仕事は、多すぎるとは言えませんがそれほど楽でもありません。普通の授業以外には、クラブ活動で生徒たちと一緒に中国語を勉強したり、中国の舞を練習したりします。夏には地域の祭りや餃子の出店までします。充実した仕事以外には、日本を一周することを目指し、休みのたびに、色々なところへ行き、たくさんの人と出会っています。

また、私は「恩返し」活動を始めました。奈良国立博物館でボランティア説明係を担当し始めたのです。様々な来館者と話をするため、知識を補充することが説明係とし



Feng Xu

中国江西(こうせい)省出身。中国重慶大学日本語学部を卒業後、中国北京師範大学日本語教育学修士課程へ入学し、一年間奈良県の天理大学へ交換留学。2008年4月から大阪府立柴島高校にて中国語言語助手として勤務し現在に至る。趣味は旅行、アニメ、仏像鑑賞、書道等。今のマイブームは韓国語。将来は日本で就職したいと希望。

ての第一歩です。それは中日の歴史、文化を勉強するほんとうにいい機会になりました。近代史上、中日の間にはいろいろなことがありましたが、この奈良国立博物館で、中日友好交流史を見守ってきた展示品とたくさん出会うことができました。奈良、シルクロードの終着点には、青々とした空があり、荘厳な古寺もあります。このような風景を眺めながら、歴史の移り変わりを感じられます。言語のコミュニケーションと心での理解を連携し、歴史の歯車を動かすことを心から望んでいます。私の尽きない想いはここから始まり、これからもずっと続いていきます。

# Kindness Talks

Where do I need to go? It starts in only 5 minutes! Maybe it is in this building? No, it is closed. How about in the building with the large cafeteria? No, the speech contest is not here either. This is not good. Why does Nanzan University in Nagoya have to be so big?! Oh, here comes a university student.

“Excuse me, do you know where the high school speech contest is?”

“No, sorry.”

I am already late and I have searched through most of this side of campus. Where is it?! I wish it were not Saturday so that there would be more people on campus to help me. Wait, there's another building with someone working inside.

“Can you help me? Where is the high school speech contest?”

“When does it start?”

“It started about 10 minutes ago,” I quickly responded.

“What school do you belong to?”

“I'm not a student. I'm an assistant English teacher at Aichi Mito High School. I have some students I helped who will present today.”

The woman gasped and called some people. After finally

getting the appropriate information, she locked the office and came out with her purse. “It's at the junior college, but this is the university. It's far from here. I'll drive you.”

I did not expect such kindness, especially people going out of their way to help you. I have had other experiences where strangers sacrificed much for me. Of course there are people who would not do anything for me too, but the acts of kindness help to build a strong bond between the giver and the receiver. I have come to realize that this is the most fundamental level of communication for the JET Programme's goal of “grassroots internationalization.”

A conversation can arise from a simple kind gesture. Part of the conversation can be in English to help and improve the Japanese person's English, but part of it can be in Japanese to help the foreigner to Japan. As I was being driven to Nanzan Junior College, the woman and I talked about our interests and past experiences. On a basic level, we simply had a chat. How would you feel sitting in a car with someone in complete silence for the entire duration of the trip? If the driver and I stayed silent, I would have gone crazy and possibly run to eat 10 packets of wasabi and scream. See how crazy it would have

# 不了情

蓦然回首,与他的相识整整过了八年。八年里,有开心有烦恼;有快乐也有痛苦。曾经青涩害羞的我,对未知充满好奇,每天都开心地期盼着看到他那新鲜的面庞。但渐渐的,我发现他并非容易让人读懂,在台灯下我不知度过了多少个烦恼的夜。当然,乌云也有消散之时,当我通过努力顺利能与他交流时,我就像幼儿园的小朋友得到了小红花一样,心里美滋滋的。可是好花不常开,快乐也总是那么短暂。虽然能顺利交流了,但接下去该如何是好呢?这个难题让我痛苦了许久……。

他到底是谁呢?也许你已经隐约感觉到了。对,他就是“日语”。虽然进入大学攻读日语专业并非是我第一志愿,但这奇妙的缘分让我从心底体会到

了外语的魅力,交流的魅力。

虽然通过书本,电视,网络以及来华的日本友人等媒介对日本有了一些了解,但一直都没有机会和日本零距离接触。我是在学日语的第五个年头,到日本奈良圆了留日的梦。在交换留学的一年中,我尽自己最大的可能,接触日本,了解日本和理解日本。一年中,给我留下印象最深的还是生活在这片国土上的人们。有亲切和蔼的老人,有热心与我探讨文学历史的中年人,有活跃在社团活动中的青年,还有因我而改变对中国看法的孩子们。

一年的交换留学是我人生的宝贵财富,为了让这财富与更多人分享,我申请了JET。心怀一颗感

## Justin Moy

been if there was no talking?

On a higher level, the Nanzan University woman and I were representing our own countries and culture. Quick: what are the first few attributes you think of Japanese people? How about Americans (USA)? Before coming to Japan in 2007, I held the same stereotypes many other westerners hold of the Japanese: smart, shy, and nice. By now I have heard plenty of stereotypes of Americans: loud, unreserved, and gun owners (mostly with multiple arms). As you hopefully know, not all Japanese and Americans are like these things. There is more to it. Getting back to the car ride, the woman was certainly not shy. I do not think a shy woman would have even offered to drive me. She also spoke a bit in English, which is not her native language. For me, there have been occasions in the past when I was too shy to speak a foreign language. Kindness can truly help to open up people to try something different like speaking in another language. I do not know about you, but I would not want to speak to a grump.

At the time of this incident, I did not see this as any grassroots internationalization. As I interacted with more people each day, I came to understand how the foreign

presence promotes grassroots internationalization. This is a time when people can easily communicate with others from around the world. I talk to my family every week via the internet using a webcam. I can talk to people I met in other countries using different computer and internet tools such as e-mail or networking sites. However, all of these ways lack the personal touch. It is no joke that JETs and other foreigners are ambassadors of their respective countries in Japan. My presence in Japan does not only affect the friends and acquaintances I have made, but it also affects all the shopkeepers and people who pass me on the street. The saying, “When in Rome, do as Romans do,” does not maximize grassroots internationalization. It should be slightly changed to: “When in Rome, do as Romans do; but continue to let out the Greek in you when appropriate.”

I was driven straight to the entrance of the building where the contest was held. The trip took a little over 10 minutes. This means she took over 20 minutes out of her day to help a complete stranger, one who does not even fully speak her native language. What would you have done if you were her? I surely hope that my acts of kindness open the eyes of everyone I meet as well as teach me more about Japan. Kindness is the universal language that can be built upon. Speak and listen. 英語

## Feng Xu

恩的心，在2008年4月9日又踏上了这个离别不久的国度，再续这不了的情缘。

我工作的地方是充满庶民人情味，我一直所向往的大阪。这里的高中工作，不是那么繁重也不是那么轻松，除了日常的教学之外，在社团活动时间我和学生们一起学中文，练跳舞，夏天还一起参加节日祭典摆起饺子摊呢。在充实的工作之外，为了达到走遍日本的目标，每个假期都会到处走走，想去遇见更多的人。

另外，我还开始了“报恩”行动——在奈良国立博物馆做志愿解说员。为了能与各种各样的参观者交流，作为解说员的第一步就是补充自己的历史

文化知识。这的确是一个让我深入学习中日文化历史的好机会。虽然在近代史上中日之间发生了种种，但在奈良博物馆里，我看到了很多见证了中日友好交流的展示品。奈良，丝绸之路的终点站，望着这里的蔚蓝的天空和肃静的庙宇，让我不禁感慨历史的变迁。希望语言交流与心灵的相互理解联动，共同转动历史的齿轮。我想的我和他的不了情从这里开始，也会继续和他一起走下去……。

中国語